

持続可能なインパクトを生み出そう
第3131回例会 (7月21日)
クラブ協議会②地区基本方針 新しい扉を開く
会長基本方針 ロータリー活動を楽しもう会長 和田 達也
幹事 笠松 誠一

●会長スピーチ

会長 和田 達也



今年度RI国際ロータリー会長テーマ
「持続可能なインパクトを生み出そう」
このテーマは地域社会とのつながりを活
かして長期的な変化をもたらす奉仕プロ
ジェクトを実施することに焦点を当てて
います。

これは、協働を通じてどのように世界に持続可能な
変化をもたらせるかを示すものでもあります。

勝山RCも奉仕活動が一番メインの事業であります。
勝山RCは少ない会員で地域貢献である奉仕活動を継続
事業も含めて、皆さんと夢と感動のある事業を考えて
行きたいと思います、

それを含めて今日は今年度の委員会から報告もある
と思います。

その活動を通じて皆さんでロータリーを楽しんでい
きましょう。

●ニコニコ報告

皆出席

幅田 浩二

幅田浩二

●出席報告

7月21日

欠席2名

90%

7月14日

欠席0名

100%

小林 達治

クラブ協議会 活動計画②

●クラブ管理運営委員会

小林 達治



当委員会は、会員の皆様の出席奨励や、
親睦活動、ロータリー家族、そしてプロ
グラムの企画といった、クラブ運営の根
幹を担っております。今年度は、例会の
回数が少し減少したことを踏まえ、限ら
れた予算と機会を最大限に有効活用し、

メリハリのあるクラブ運営を目指してまいります。

その一環として、6月下旬には、和田会長のお声が
けのもと、第1回の委員会を開催いたしました。各委
員の皆様から「こんなことをやってみたい」「予算は
このように使えないか」といった、非常に前向きで具
体的なご意見を多数いただきました。委員会間でやり
たいことが重なる部分もございますので、今後は、食
事の企画とプログラム内容を有機的に連携させるなど、
より効果的な運営を進めてまいります。今後も定期的
に委員会を開き、活動計画を柔軟に見直していく所存
です。

また、出席の確認方法として、LINEでの欠席投票を
導入いたしました。これは元々、欠席状況を円滑に把
握するために始めたものですが、最初に「欠席」と投
票するには少し勇気がある、という心理的な効果から
か、結果的に出席率の向上にも繋がるのではないかと
期待しております。

●親睦・ロータリー家族委員会

山内 智子



今年度は、和田会長の「ロータリー活動を
楽しもう」というメッセージを基本方針に、
会員の皆様、そしてそのご家族が「楽しい」
と実感できるような例会を企画してまいりま
す。

具体的な計画としましては、例年通り、
12月にクリスマス例会、1月に新年例会、そして6月に
最終例会を予定しております。また、「ポリオラン
チ」「ランチ例会」を実施したいと考えております。

これらの親睦例会は、当委員会だけでなく、他の委
員会とも積極的に連携し、会員相互、そしてご家族も
含めた交流が深まるような、魅力的な内容にしてい
きたいと考えております。昨年、私の娘がクリスマス例
会に参加し、「すごく楽しかった、また行きたい」と
申ししておりました。このように、ご家族にもご参加
いただくことで、家族間の交流が生まれ、ひいてはク
ラブ全体の絆がより一層強固なものになると信じており
ます。

皆様には、ぜひ積極的に例会にご参加いただき、共
に楽しい時間を過ごせますことを願っております。出
席率80%、いえ90%を目指してまいりますので、皆様
のご協力をよろしくお願いいたします。

7月28日 プログラム	クラブフォーラム	8月4日 プログラム	会員卓話 田中会員	8月11日	休会
----------------	----------	---------------	-----------	-------	----

例会日 毎週火曜日 12:30～13:30 例会場 勝山市市民交流センター

〒911-0811 福井県勝山市片瀬町1丁目402番地 TEL 0779-87-7761 FAX 0779-87-7760

URL: <https://rid2650.gr.jp/club-katsuyama> Email: katsuyamarc@gmail.com 編集発行・文責 公共イメージ委員会

●プログラム委員会

幅田 浩司



基本方針としましては、会員全員の交流を深められるような魅力あるプログラムを企画し、他の委員会とも協力しながら、向上心の高い例会を目指します。

今年度は、和田会長の「チャレンジ」という方針を受け、外部講師をお招きする卓話の回数を少し減らし、その分、会員一人ひとりがより深く関わり合えるような時間を増やしたいと考えております。「この人、話してみたらこんな一面があったのか」といった新しい発見が生まれるような、会員同士の交流に焦点を当てたプログラムを企画してまいります。

正直なところ、まだプログラムの具体的な内容は固まっておりません。皆様から「こんなことをやってみたい」というご意見がございましたら、ぜひお聞かせいただければ幸いです。皆様のご協力をお願いいたします。

●奉仕プロジェクト委員会

織田 昌弘



今年度のRI会長が奉仕活動に重点を置いていること、そして和田会長からも「継続事業の見直し」や「新規事業の検討」といった方針が示されていることを踏まえ、当委員会では、これまでの活動を振り返りつつ、今の社会に本当に求められている奉仕とは何かを、会員の皆様全員で考えていきたいと思っております。

国際、社会、青少年、職業という4つの奉仕分野の枠にとらわれず、委員会間で連携し、会員の皆様が「楽しく、達成感のある活動」と感じられるプロジェクトを目指します。早速、次回のクラブフォーラムでは、皆様から広くご意見をいただくためのグループワークを予定しておりますので、積極的なご参加をお願いいたします。

●国際奉仕委員会

鷲田 政憲



今年度も引き続き、アメリカのボーズマン・サンライズ・ロータリークラブとの交流を活動の主軸に据えてまいります。

これまでの活動に加え、今年度は青少年奉仕委員会と連携し、勝山市内の中高生とボーズマンの中高生がZoomを通じて交流する機会を設けたいと考えております。

また、週報を通じて両クラブの活動をお知らせする「モンタナ通信」も継続してまいります。

さらに、勝山市在住の国際交流員やALTの方々を例会にお招きし、日本の文化に触れていただく機会を作ることも検討しております。

●社会奉仕委員会

山本 泰司



ヨシ刈りや長山公園の清掃といった継続事業を通じて、会員間、そして地域の方々との交流を深めてまいります。

今年度は、ただ例年通りに活動を行うのではなく、皆様がより一層「楽しかった」「思い出に残った」と感じていただけるような工夫を凝らしていきたいと考えております。

●青少年奉仕委員会

滝川 博則



今年度は、国際奉仕委員会と緊密に連携し、勝山の未来を担う子どもたちへ、ボーズマンとの交流の輪を広げていくことに重点を置きます。

目標として、2028年頃に勝山の子どもたちをアメリカへ派遣する事業を計画したいと考えております。

その第一歩として、まずは子どもたちにボーズマンという街を知ってもらうための紹介事業や、Zoomでの交流会を実施してまいります。

また、長年続けてまいりました夏休みの理科作品コンクールへの協力につきましては、その在り方について、改めて学校側と協議を進めてまいります。

●米山記念奨学会

梅田 秀司



今年度も従来通り、奨学金のための寄付をお願いしてまいります。

目標額は、前年度同様、会員一人あたり24,000円とさせていただきます。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

●ロータリー財団

辻 利津子



これまで寄付は続けてまいりましたが、その意義について十分に理解できていなかったと反省しております。そこで、今年度は私自身がまず学び直し、その上で、会員の皆様と共にロータリー財団の意義を深く理解し、寄付活動に取り組んでまいりたいと考えております。

地区目標は、年次基金が一人当たり180ドル、ポリオ・プラスが30ドルです。皆様には、ぜひ財団についての情報冊子に目を通していただき、理解を深めていただければ幸いです。

また、地区補助金を活用した青少年奉仕事業を来年度に実施できるよう、今年度中に計画を策定し、申請準備を進められるとよいと考えております。

10月25日には、福井県下一斉のポリオ街頭募金活動も予定されております。

皆様には、無理のない範囲で、「寄付をすることで、世界と地域のために良いことができる」という精神で、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

●クラブラーニングファシリテーター

多田 慶一郎



今年度も、会員の皆様のロータリー活動への理解を深めることを目指します。新入会員や若手会員向けのセミナー、そしてテーマを設けた炉辺会議の開催を計画しております。

また、新たな取り組みとして、各委員会の「事務引継書」の作成をお願いしたいと考えております。

これまでは口頭での引き継ぎが中心でしたが、活動の継続性を担保するため、最低限のマニュアルを作成し、次年度へスムーズにバトンを渡せる体制を整えたいと思います。委員長の皆様には、ご協力をお願いいたします。